

STEM REPORT コスモ PA 2022.6.11 SAT

6月11日（土）午後、コスモサイエンスコース2年生 第1回PAとして「奈良女子大学連携講座」を実施しました。

Tsukuba Science Tour の研修地の1つ“高エネルギー加速器研究機構”の事前学習の一環として奈良女子大学 自然科学系・物理学領域 宮林 謙吉（みやばやしけんきち）先生に「加速器で探る様々な自然の姿」というテーマで講義していただきました。

物質の最小単位である原子の構成粒子、陽子と中性子から講義はスタート。10-18mという小さい粒子を調べるためには、粒子の運動エネルギーを大きくし、粒子間の距離をすごく小さくしなければならない。そのためには加速器が必要。中学で学んだ電磁誘導の原理も交えながら、わかりやすく説明していただきました。



量子力学は簡単には手に入れないという実感、それ故の好奇心を抱きながら、あっという間に時間が過ぎました。7月の現地研修では、再び宮林先生のご指導を受けられる、とのこと。一生懸命予習していきます！よろしくお願いします！

受講生の声：加速器研究には、電磁力システム、真空システム、RF空洞システム、粒子源システムなどの様々なシステムによって成り立つ。「1人の天才だけでは進まない。100人のプロが力を合わせることで科学が促進する。」という言葉が最も心に残った。
将来、自分もプロの1人になりたい。
荷電粒子が磁場によって進行方向が変わると光が発生する、と説明があったが、どういう仕組みで光が発生するのか知りたい。
科学はまだ、序の口にあるのではないかと思った。